

# 真室川音頭

山形民謡

1

私しや真室川の梅の花

コーオリヤ

あなたまたこのまちの鶯よ  
(ハアコリヤコリヤ)

花の咲くのを待ちかねて

コーオリヤ

蕾のうちから通って来る

(ハアドントコイ

ントコイ)

2

蕾のうちから

通っては見たがコーオリヤ  
ひらかぬ花とて気がもめる

(ハアコリヤコリヤ)

早く時節が来たならば

コーオリヤ

一枝ぐらいは折ってみたい

(ハアドントコイ

ドントコイ)

真室川音頭

3 夢を見た 夢を見た 夢を見た

夢を見た コーオリヤ

あなたと添うとこ

夢を見た

(ハアコリヤコリヤ)

三三九度の盃を

コーオリヤ

ただぐとじろで

目がさめた

(ハアドントコイ

ドントコイ)

## 真室川音頭

4 真室川よいとこ新庄を受けて

コーオリヤ

娘また美人で唄ごころ

(ハアコリヤコリヤ)

のぼりくぐらりに

ちよいと足とめて コーオリヤ

聞いてまたお帰りこの音頭

(ハアドントコイドントコイ)

5 裏からまわれれば垣根「あるし

コーオリヤ

表からまわれれば犬吠える

(ハアコリヤコリヤ)

なくな騒ぐな泥棒じゃないよ

コーオリヤ

この家娘さんにちよいと用がある

(ハアドントコイドントコイ)

6 貴方は御殿の八重桜 コーオリヤ

私しゃまた垣根の朝顔よ

(ハアコリヤコリヤ)

いくらほどよく咲いたとて

コーオリヤ

御殿の桜にゃおよばない

(ハアドントコイドントコイ)

# 真空川音頭

7 山を越え山を越えはるばると コーオリヤ  
真空川見たさに国を出た

(ハアコリヤコリヤ)

深山育ちの百合の花 コーオリヤ  
そつとまた手折れば香にまよう

(ハアドントコイドントコイ)

8 あちらは神室かしぐれが通る コーオリヤ  
心またぬれよか虹の橋

(ハアコリヤコリヤ)

せめて七色消えないうちに コーオリヤ  
主とまた越えよか秋山を

(ハアドントコイドントコイ)

9 男伊達なら二国一と コーオリヤ  
度胸またためすか泡の滝

(ハアコリヤコリヤ)

さつとしぶきこ黒肌投げらや

コーオリヤ

頬をまた染めるか虹つつじ

(ハアドントコイドントコイ)

## 真室川音頭

10 炭と木材山ほど積んで コーオリヤ  
白いまたお米の膝枕

(ハアコリヤコリヤ)  
なんの都路千里の果ても

コーオリヤ

一夜また明けければ笑い顔

(ハアドントコイドントコイ)

11 向こうから来るのは自動車が三台

コーオリヤ

前はまた大黒中恵美須 (ハアコリヤコリヤ)

あとの車に宝を積んで コーオリヤ

名ざして来るのはこの家方

(ハアドントコイドントコイ)

12 今日日は日もよい天気も良いし コーオリヤ

恵美須また大黒浜遊び (ハアコリヤコリヤ)

大鯛小鯛を釣り上げて コーオリヤ

釣り竿かついで踊りだす (ハアドントコイドン

トコイ)

13 富士の山ほど評判されて コーオリヤ

笹のまた露ほど思われて (ハアコリヤコリヤ)

話ぐらいはしたかも知れぬ コーオリヤ

いまだに添い寝はしたことねえ (ハアドントコ

イドントコイ)